

有田市コミュニティ・スクールだより



中学生のまちづくりプラン【箕島中学校】

箕島中学校学校運営協議会では、「子供と地域住民をつなぐことを通して学校運営に関わる」を目標に熟議を重ねています。その結果、箕島中学校の生徒の自尊感情を高めるために「総合的な学習の時間」に、生徒による地域貢献【中学生のまちづくりプラン ～中学生だからこそできる地域貢献のあり方～】に取り組むことが決定されました。この取組では、生徒が、地域の人から「認めてもらう」「褒めてもらう」「頼りにしてもらう」ことを実感できることを目指しています。

生徒は、学校運営協議会や社会福祉協議会等の支援を受けながら、次のようなことに取り組んでいます。

★様々な立場で活躍されている地域の方々にインタビューし、自分たちが暮らす地域の現状や歴史を調査する。

- ・地域の歴史やそこで働く人々の考えや気持ちに触れる。
- ・地域の一員として、自分たちのできること、期待されていることを考える。
- ・地域のために自分たちのできることを具体化し、中学生のアクションプランを立てる。

★計画したアクションプランを様々な機会に発表し、積極的に行動化していく。

- ・社会福祉協議会主催の「異世代活動報告会」で活動報告を行う。



市職員による有田市の説明

取組に関わった方々は、生徒が地域の中で支えられている自分自身を肯定的にとらえ、様々な人とのつながりの中で主体的で協働的な行動が行えるように育ててほしいと願っています。

地域再発見！まちなか・こどもアート展【宮原地域交流協議会】

宮原地域交流協議会は令和元年度に設立されました。現在、宮原を拠点に活動する34団体が中心となって地域の活性化を目指して活動しています。

昨年度は、「ともにプロジェクト」として、文成中学校と連携した取組を行いましたが、今年度は、「虹プロジェクト」として医療従事者に対する感謝のメッセージを有田市立病院等に掲示しました。

また、今回、文成中学校・宮原小学校・糸我小学校のそれぞれの学校運営協議会や元気ふるさとづくりサポーターと協働し、「地域再発見！まちなか・こどもアート展 in 宮原&糸我」を行いました。各校の子供たちが、自分の思う町の魅力を絵画や写真に表現し、地域の皆さんにも見ていただくものです。新型コロナの影響で、宮原地区の7会館と糸我地区の3会館での分散展示になりましたが、子供たちの作品を通して宮原・糸我地域の魅力を地域の子どもと大人で共有しました。



学校と地域が連携・協働し、未来を担う子供たちを育てよう